

2016年2月1日、JSPEとJABEE（日本技術者教育認定機構）はMOUを締結しました。このMOUに至る背景や、その先にある展望を日本機械学会委嘱のJABEE審査員でもある筆者が解説いたします。

みなさまはWashington Accord（ワシントン協定、以下WA）をご存知でしょうか。WAは技術者教育の実質的同等性を相互承認するための国際協定であり、米国のABET（Accreditation Board for Engineering and Technology）とカナダ、英国、オーストラリア、アイルランド、ニュージーランドの各国と地域Boardにより1989年11月に成立しました。日本の技術者教育プログラム認定を行っているJABEEは2005年6月に加盟が承認されています。この協定の目的は、“各加盟団体が行う技術者教育認定制度の認定基準・審査の手順と方法の実質的同等性を相互に認め合うことにより、他の加盟団体が認定した技術者教育プログラムの実質的同等性、ひいてはその修了者について自国・地域の認定機関が認定したプログラム修了者と同様に専門レベルで技術業を行うための教育要件を満たしていることを相互に認め合うこと”ですが、この協定にはProfessional Engineering License 相互認証のための基盤という意味もあります。

ご存知のように、米国のFE/PE試験を受験するためにはABETの定めたカリキュラムを履修していることが前提（日本での受験時には学歴審査は行われず登録時に要求される）となっています。Professional Engineering Licenseを取得するためにはその能力のみではなくBack groundとなる技術者教育について各国、地域において基準があるため、Professional Engineering Licenseの相互認証のためにはまず技術者教育プログラムについても実質的同等性を担保する必要があるのです。

WAに加盟している認定機関（例えばJABEE）が認定したプログラム修了者は他の加盟機関（例えばABET）の認定プログラム修了者と資質が同等ということになるので、PE登録を目指す上で大きなメリットとなりそうですが、残念ながら実効性が伴っていないのが現状です。Professional Engineering Licenseの国際的な相互承認は未だ実現されていませんが、TPPが発効され、様々な分野で自由競争が促されるようになれば、いずれは実現されることになるでしょう。その時に日本の教育を受けた技術者がそのBack groundが国際的な基準に合致していないがために土俵にすら上がれないという状況にならないとも限りません。

JSPEとJABEEのMOUはこのような背景の下に締結されました。その目的は主として次の2点です。

- ABETとJABEEの認定プログラムの質的同等性をpromoteすること
- 日本人技術者に対する国際的な教育及びキャリア構築に寄与するための協業

このMOUはJSPEの活動方針である“世界で活躍できる視野の広い専門技術者育成に貢献します”という項目の趣旨にあうものです。JSPEとしてできる取り組みの一つとして考えられるのは、JABEEプログラム修了証明をCE評価と同等のエビデンスとして示すことです。JABEEはあくまで大学という機関を認証する仕組みなので、JABEEではCE評価に代わる個人に対する学歴審査証の発行はしませんが、ある大学のプログラムが確かにJABEE認定プログラムであったという証明書は発行できます（MOUに基づいて英文の証明書発行を求めています）。JABEEプログラム修了生は卒業証明書とプログラムに対するJABEEの証明書にてWA

加盟機構が認定したプログラム修了生であることを示せるので、学歴認定をABET or equivalent と規定している州ボードに対してABET プログラムとの実質的同等性を認めてもらうことは可能であるはずです。このような事例が増えればJSPE としてはPE 登録の可能性が広がるのが期待できますし、JABEE としてはプログラムの実質的同等性が認められた事例の蓄積となり、相互にとって有益な活動になり得るのです。このMOU に基づく取り組みが功をなすかどうかはやってみなくては分かりません。ただ、目まぐるしく変化する世界情勢の中にあつて、現状維持は後退と同義であることは、競争の激しいビジネスの世界で活躍される方にとっては周知のことと思います。JSPE もTry & Error を繰り返しながらあるべき姿を模索しているところです。新たな取り組みにみなさんも参加されませんか？

冒頭に示したように筆者はJABEE の審査員として大学のカリキュラム審査を行っています。技術士でもある筆者は1次試験が免除されるJABEE プログラムがどのようなものか知ることによって技術士試験とFE/PE 試験の特徴及びこれらから浮かび上がる技術者像の違いを知りたいというのがきっかけでした。実際に活動してみると、JABEE もプログラム審査を受ける各大学も、国際化が進む中で日本の技術者教育はどうあるべきかを真剣に考え、試行錯誤を繰り返していることがよくわかります。後進の技術者育成にはこのような道もありますので、興味のある方はご一報ください。